

科目名	国際政治入門				
英語科目		ナンバリング	GHpn1203		
開講期	春／秋	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1年次
教員名	河原地 英武			単位数	2単位

授業概要／Course outline

この授業は国際政治学の理論、主として20世紀初頭から現在に至る国際政治の流れ、そして国際政治の舞台における日本の位置づけ等を学ぶためのものである。

今日の国際関係を規定している諸要因を具体的に把握するとともに、これからの国際政治の動向についての展望をもつことができるようにするための基礎知識を身につける。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 テーマ：「全体の概観—国際政治学とは何か」

国際政治学を学ぶということはどのような意味を持っているのかについて考えると共に、この講義の概要を提示する。

第2回 テーマ：「国際政治の歴史」

古代から現代に至る国際政治の流れを把握し、国際政治における時代区分が正確にできるようにする。

第3回 テーマ：「国際政治学の理論」

各時代における主要な理論および理論家についての的確な説明ができるようにする。

第4回 テーマ：「国内政治と外交政策決定」「教員-学生間の対話」実施。

国内政治と外交政策がいかにリンクしているか、正確に指摘できるようにする。

第5回 テーマ：「国際制度」

国際制度とは何かを学び、国際連合の役割について理解する。

第6回 テーマ：「国家と非国家主体」

国家と非国家主体の違いを明確にし、それぞれの役割の相違と相互関係を正確に把握する。

第7回 テーマ：「安全保障Ⅰ—伝統的安全保障」

伝統的な安全保障の考え方や諸理論を考察し、その問題点を指摘できるようにする。

第8回 テーマ：「安全保障Ⅱ—新しい安全保障」

21世紀における安全保障上の問題を明確化し、その現実に対応した諸理論を把握する。

第9回 テーマ：「人権と民主化」

人権と民主化の定義を明確化させ、それが今日の国際社会に持つ重要性を指摘できるようにする。

第10回 テーマ：「国際政治経済」

国際政治と国際経済のリンクについて具体的に指摘できるようにする。

第11回 テーマ：「国際協力と国際政治」

国際協力に関する歴史を概観し、特に南北問題や政府開発援助の具体的な問題点を指摘できるようにする。

第12回 テーマ：「地球環境と国際政治」

地球環境問題を具体的に挙げつつ、それに対する国際的な取組を整理する。

第13回 テーマ：「エネルギーと国際政治」

エネルギー問題を具体的に挙げつつ、それに対する国際的な取組を整理する。

第14回 テーマ：「移民・難民問題と国際政治」（学習成果実感調査を実施）

移民・難民問題を具体的に挙げつつ、それに対する国際的な取組を整理する。

第15回 テーマ：「国際社会の展望」

今までの講義内容を踏まえつつ、国際社会の喫緊の課題を整理する。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

第1回 テーマ：「全体の概観—国際政治学とは何か」

〔事前学習〕シラバスを熟読し、講義の概要を把握しておく。

〔事後学習〕国際政治について200字程度に概念をまとめる。

第2回 テーマ：「国際政治の歴史」

〔事前学習〕教科書第2章に従って時代区分を行う。

〔事後学習〕近代国際政治の特徴をまとめる。

第3回 テーマ：「国際政治学の理論」

〔事前学習〕 主要な理論および理論家をノートにまとめる。
 〔事後学習〕 近代の理論がそれ以前の理論と異なる点を指摘できるようにする。

第4回 テーマ：「国内政治と外交政策決定」
 〔事前学習〕 国内政治と外交政策の違いを指摘できるようにする。
 〔事後学習〕 国際政治と外交政策の違いをノートにまとめる。

第5回 テーマ：「国際制度」
 〔事前学習〕 国際制度の概念をノートにまとめる。
 〔事後学習〕 国際連合の役割をノートにまとめる。

第6回 テーマ：「国家と非国家主体」
 〔事前学習〕 非国家主体にはいかなるものが存在するか事前に調べておく。
 〔事後学習〕 国家と非国家主体の相互関係についてまとめる。

第7回 テーマ：「安全保障Ⅰ——伝統的安全保障」
 〔事前学習〕 伝統的な安全保障とは何か、述べられるようにしておく。
 〔事後学習〕 伝統的な安全保障の今日における妥当性と問題点を指摘する。

第8回 テーマ：「安全保障Ⅱ——新しい安全保障」
 〔事前学習〕 21世紀における主要な安全保障上の問題を整理しておく。
 〔事後学習〕 新しい安全保障の理論をノートにまとめる。

第9回 テーマ：「人権と民主化」
 〔事前学習〕 人権と民主化を自分なりに定義してみる。
 〔事後学習〕 人権と民主化が今日の国際政治のなかで重要とされる理由を述べられるようにする。

第10回 テーマ：「国際政治経済」
 〔事前学習〕 自由貿易と保護貿易の具体例を調べる。
 〔事後学習〕 アジアにおける経済発展について具体的に述べられるようにする。

第11回 テーマ：「国際協力と国際政治」
 〔事前学習〕 国際協力が必要な理由を述べられるようにする。
 〔事後学習〕 南北問題にいかに取り組むべきか、自分の考えが述べられるようにする。

第12回 テーマ：「地球環境と国際政治」
 〔事前学習〕 地球環境問題を具体的に列挙できるように準備する。
 〔事後学習〕 地球環境問題に対する国際的な取組をノートに整理する。

第13回 テーマ：「エネルギーと国際政治」
 〔事前学習〕 エネルギー問題を具体的に列挙できるように準備する。
 〔事後学習〕 エネルギー問題に対する国際的な取組をノートに整理する。

第14回 テーマ：「移民・難民問題と国際政治」
 〔事前学習〕 移民・難民問題を具体的に列挙できるように準備する。
 〔事後学習〕 移民・難民問題に対する国際的な取組をノートに整理する。

第15回 テーマ：「国際社会の展望」
 〔事前学習〕 今までの学習を振り返りつつ、国際社会における喫緊的な課題を列挙する。
 〔事後学習〕 日本の役割についてノートにまとめる。

※事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うこと。

授業の到達目標/Expected outcome

- ・ 国際政治学の基本概念を現実の国際関係に当てはめて説明できる。
- ・ 20世紀以降の国際政治の流れを概括し、説明できる。
- ・ 国際社会における日本の立場について自分の意見を述べるができる。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・ 思考力
- ・ 幅広い教養

履修上の注意/Special notes, cautions

- ・ 毎回教科書を持参して出席し、事前学習も怠らない。
- ・ 宿題として課せられる提出物は確実に提出すること。
- ・ 小テストを課することにより出欠確認を行う。

評価方法/Evaluation

発言など積極的参加、授業時の提出物40%。
 授業時に定期的に行う確認テスト 60%。

教材/Text and materials

永山博之・河原地英武・井口正彦・井口有香『国際政治学への扉』一藝社、2017年。

質問や相談の方法／Instructor contact

オフィスアワーにおける面談とメールによる。

その他／Others

オフィスアワーは、ガイダンス配布資料および事務室前の掲示で確認してください。